

2014年（平成26年）10月8日

医療法人社団翔友会
代表者理事 綿引 一 様

適格消費者団体 消費者機構日本
特定非営利活動法人

会 長 青 山 侑
理事長 芳 賀 唯 史



申入れ及び問合せ

私ども消費者機構日本（以下「当機構」）は、消費者契約に関する調査、研究、事業者への不当行為の是正申し入れ、消費者への情報提供等を通じ、消費者被害の拡大防止を図ることを目的に、消費生活の専門家と法律の専門家ならびに消費者団体などから構成されている特定非営利活動法人です。また、消費者契約法第13条に基づき、内閣総理大臣から適格消費者団体の認定を受けた団体です。詳しくは同封のパンフレット等をご覧ください。

貴法人の広告及び勧誘方法に関する情報提供がありました。当機構において、貴法人のホームページにおけるインターネット広告や雑誌広告等（以下一括して「広告」といいます。）の内容及び「相談情報」「相談事例」等を検討した結果、貴法人の広告表示内容や勧誘方法に問題点があるとの結論に達しました。

そこで、当機構は貴法人に対し、不当景品類及び不当表示防止法（以下「景品表示法」といいます。）第10条1号・2号（第4条1項1号・2号）及び消費者契約法12条（第4条3項）に基づき、下記のとおり、第1、第2及び第3の事項につき申入れます。

また、下記の第4以下の事項については、問い合わせます。

つきましては、本申入れおよび問合せ事項に対する貴法人の文書による回答を2014年10月31日（金）までに当機構にお送りください。（回答書には、本件に関する貴法人の担当窓口、担当者名、住所、電話番号、FAX番号、E-Mailアドレスなどを記載ください。）

なお、本件につきましては、本書面の内容、貴法人のご回答の有無・内容等を当機構のホームページ等に適時公表します。また、当機構は消費者契約法第23条4項に基づき、本書面の内容と結果を消費者庁に報告いたします。消費者庁は、消費者契約法第39条に則り公表を行う場合があります。

記

申入れ事項

第1 フェザーリフト、ロイヤルリフト、フェイスアップの効果

1 申入れの趣旨

貴法人の広告において、フェザーリフト、ロイヤルリフト、フェイスアップについて、つり上げ、たるみ解消等の効果が強調されていますが、このような表示は、景品表示法第4条1項1号に定める優良誤認表示に該当すると考えられますので、効果を強調する表示の削除を求めます。

2. 申入れの理由

景品表示法第4条1項1号の優良誤認表示とは、「商品又は役務の品質、規格その他の内容について、一般消費者に対し、実際のものよりも著しく優良であると示す表示であって、不当に顧客を誘引し、一般消費者による自主的かつ合理的な選択を阻害するおそれがあると認められるもの」と規定されています。

フェザーリフト、ロイヤルリフト、フェイスアップは、いずれも吸収糸を用いたスレッドリフトと呼ばれる手術であるところ、スレッドリフトの効果については、文献によると、「従来の方法と比べ、患者が想像しているよりも効果が弱いこともある」「皮膚の下垂が強い症例に対しては有効ではない」「手術による変化はそれほど大きなものではないことを十分に説明しておく必要がある」と等とされています。

それにもかかわらず、貴法人のホームページでは、次のような記載があります。

① フェザーリフト

「他の若返り術との組み合わせで、さらに効果アップ！」

「糸の周囲でコラーゲン生成がおこり、肌にハリがでたり、今後のたるみ予防にも効果を発揮します。」

② ロイヤルリフト

「当院特注の溶ける繊維で高い引き上げ効果！」

「切らない施術ですので、お顔に傷あとは残らず、より長い効果の持続を期待できます。」

「切らずに効果と安心をしっかりと求めたい方に！」

「施術後すぐに効果を実感いただけます。」

「当院特注の繊維で、より高い持続効果が期待できます。」

「立体的に溶ける繊維を注入する方法なので、より自然な仕上がりで、

強力に引き上げ、高い持続力が期待できます。」

③ フェイスアップ

「フェイスアップは今までの外科的処置によるリフトアップでは不可能だった、お顔全体のつり上げを可能にした処置です。メスで切らずに溶ける繊維を注入してホホやフェイスラインを自由自在につり上げ、タルミを解消することができます。」

「フェイスアップは、お顔の正面・ホホ側面・フェイスライン、あらゆる面を自由自在にリフトアップすることが可能です。これにより、リフトアップ・小顔効果が得られます。」

「お顔の正面もホホもフェイスラインも思いのままに変化！」

「輪郭とアゴを同時に整えることでより小顔効果が生まれます。」

このように、具体的な数値を示さず抽象的・感覚的に高い効果があるとの情報のみを記載する表示は、各手術により得られる効果について、一般消費者に対し、実際のものよりも著しく優良であると示す表示であって、不当に顧客を誘引し、一般消費者による自主的かつ合理的な選択を阻害するおそれがあると認められるものですので、不当表示（優良誤認表示）であると考えられます。

第2 BMC会員価格

1 申入れの趣旨

貴法人の広告において、BMC (Beauty Members Club) 会員には、料金が20%OFFになるとされ、非会員価格と会員価格が対照表示されていますが、このような表示は、景品表示法第4条1項2号に定める有利誤認表示に該当すると考えられますので、二重価格表示をしないことを求めます。

2 申入れの理由

景品表示法第4条1項2号の有利誤認表示とは、商品・役務等につき、その取引条件が実際のもの又は他の同種若しくは類似の商品・役務を供給している他の事業者のものと比較し著しく有利であると誤認される表示であって、一般消費者の自主的かつ合理的な選択を阻害するおそれがあると認められるものと規定されています。

そして、「不当な価格表示についての景品表示法上の考え方」（平成12年6月30日公正取引委員会，平成18年1月4日改定）によると、会員制の販売方法において非会員価格を比較対照価格に用いる場合、容易に会員になることが可能であって、その価格での購入者がほとんど存在しないと認められる販売価格を非会員価格として比較対照価格に用いる「二重価格表示」は、不当表示に該当するおそれがあるとされています。

この点、貴法人のBMC会員は、当日入会が可能で、入会金・会費は全て無

料であるとされているため、容易に会員になることが可能であって、さらに、会員になるに当たって貴法人に知られていない個人情報を追加登録する必要もないことに鑑みると、会員にならずに施術を受けることは考えられないことから、非会員価格で契約した者はほとんど存在しないと考えられます。

よって、BMC (Beauty Members Club) 会員には、料金が20%OFFになるとされ、非会員価格と対照して表示されている会員価格表示は、不当表示(有利誤認表示)であると考えられます。

第3 退去妨害行為

1 申入れの趣旨

貴法人の経営する診療所において、診療契約の締結について勧誘をしている場所から当該消費者が退去する旨の意思を示したにもかかわらず、その場所から当該消費者を退去させない行為を行わず、また、従業員に対して、そのような行為を行わないよう適切な指示・指導・研修を行うことを求めます。

2. 申入れの理由

消費者契約法第4条3項は、消費者は、事業者が消費者契約の締結について勧誘をするに際し、当該消費者に対して、当該事業者が当該消費者契約の締結について勧誘をしている場所から当該消費者が退去する旨の意思を示したにもかかわらず、その場所から当該消費者を退去させない行為(2号)をしたことにより困惑し、それによって当該消費者契約の申込み又はその承諾の意思表示をしたときは、これを取り消すことができる旨規定しています。

ここにいう「退去させない」とは、「退去の意思があったのに、当該消費者を当該場所から退出させるのを困難にさせた場合を広く意味し、物理的なものであると、心理的なものであるとを問わず、当該消費者にとって退去させない状況になっていれば足りる。」(名古屋簡判平17・9・6)と解されます。

貴法人の経営する診療所においては、クラークと呼ばれる従業員が、退去して検討する旨表明した消費者に対し、その日だけ手術代金を割引する、支払は後日でよいなどと言って退去させず、密室で長時間にわたって説得してクレジットを組ませるなどして当日のうちに手術を行う例が見られます。

このような行為は、上記第4条3項2号に該当すると考えられます。

問合せ事項

第4 症例実績等

貴法人のホームページでは、2014年4月現在、品川グループ全院において、「症例実績400万件以上」「紹介・リピート約90%以上」と記載されています。

これを裏付ける客観的なデータは存在するのでしょうか。

第5 「安心保証制度」

貴法人のホームページでは、「安心保証制度」があるとされており、貴法人の医師の診察により再治療が必要ないし可能と判断された場合に、無料で再治療すると謳われています。患者が再治療を希望した場合、実際に無料での再治療はどの程度の割合で行われているのでしょうか。また、再治療を断ったり、無料での再治療ではなく、他の手術を有料で施術したりする割合はどの程度あるのでしょうか。

第6 ロイヤルリフト、フェイスアップの「切らない」との表現

貴法人のホームページでは、ロイヤルリフト、フェイスアップの術式について、「切らない」との表現が使用されています。「切らない」とはどういう意味で使用されているのでしょうか。これらの手術については、一切の切開を行わないということでしょうか。

「切らない」という表示に接した消費者は、「出血しない」というように理解するのが一般的であると考えられますところ、出血しない施術なののでしょうか。

第7 「当院独自」「世界レベル」との表現

1 「品川美容外科独自」「当院独自」

貴法人のホームページでは、「ライトリフト」のページには、「この技術は品川美容外科独自のリフトアップ技術が生み出したオリジナルの新しい施術方法になります。」とあり、「二の腕の脂肪吸引」のページ等には、「当院のプレミアム脂肪吸引なら当院独自のダブル効果により」という表現がされています。

この「品川美容外科独自」とか「当院独自」とはどのようなことを意味するのでしょうか。また、そのような施術方法については、客観的エビデンスに支えられた医療水準による裏付けは存在するのでしょうか。

2 「世界レベル」

貴法人のホームページでは、「世界レベルで認められたバストクリニック」であると標榜し、「複数の医師がアメリカの専門機関で研修を受け、認定証を交付されたことを根拠としているようです。

「世界レベルで認められた」とは何を意味するのでしょうか。また、そのように標榜する根拠は何でしょうか。もし、上記のアメリカの専門機関での研修、認定証を根拠にするのでしたら、その内容及びそれが世界レベルであることを示す事実をお示しく下さい。

【添付資料】

資料1：貴法人のホームページ（本書面での引用箇所）

資料2：文献「スレッドリフトの選択と問題点 形成外科 53 巻 6 号」

＜本件に関する問合せ＞

消費者機構日本

専務理事 磯 辺 浩 一

事務局 武 田 智 直

〒102-0085 東京都千代田区六番町 15

主婦会館 プラザエフ 6 階

T E L 03-5212-3066

F A X 03-5216-6077

以上

資料1

(* 広告表示の内容は 2014 年 9 月 25 日現在)

1. つり上げ、たるみ解消等の効果が強調されている表示の差止について

① フェザーリフト

「他の若返り術との組み合わせで、さらに効果アップ！」

「糸の周囲でコラーゲン生成がおこり、肌にハリがでたり、今後のたるみ予防にも効果を発揮します。」

溶ける糸を通すだけの切らないリフトアップ！
他の若返り術との組み合わせで、さらに効果アップ！

フェザーリフト

お手軽 簡単 フェザーリフト

非会員 18,330円

20% OFF

14,660円

施術解説

フェザーリフトによる若返り術とは？



特殊加工された糸を使用して、皮下組織を引きしめます。使用する糸は生分解性カプロラクトン製で、体内に吸収されるタイプです。糸の周囲でコラーゲン生成がおこり、肌にハリがでたり、今後のたるみ予防にも効果を発揮します。この方法は皮膚を切開する必要がなく、キズ跡もほとんど残りません。

※たるみが多い方にはロイヤルリフトをおすすめします。

② ロイヤルリフト

「当院特注の溶ける繊維で高い引き上げ効果！」

「切らない施術ですので、お顔に傷あとは残らず、より長い効果の持続を期待できます。」

「切らずに効果と安心をしっかりと求めたい方に！」

「施術後すぐに効果を実感いただけます。」

「当院特注の繊維で、より高い持続効果が期待できます。」

「立体的に溶ける繊維を注入する方法なので、より自然な仕上がりで、強

力に引き上げ、高い持続力が期待できます。」

当院特注の溶ける繊維で高い引き上げ効果!!

ロイヤルリフト

切らない
リフトアップ

1年間の
安心保証付

非会員
スタンダード

414,810円

DMC会員は
20%
OFF

331,840円

ロイヤルリフトとは?

施術解説

施術部位と料金

安心アフターケア

詳細情報

当院特注の溶ける繊維で、高い引き上げ効果!!

ロイヤルリフト

完全無料のアフターケア

切らないので
傷あとが残らない

メスを使わないリフトアップなので お顔に傷あ
とが残りません。

また、施術時間は20~30分（1部位あたり）と
短時間です。

効果を即実感!

従来の平面的な注入法とは異なり、おひとりお一
人のたるみの状態に合わせて立体的に注入して行
く方法ですので、施術後すぐに効果を実感いただ
けます。

高い持続効果
+
将来的たるみ予防

当院特注の繊維で、より高い持続効果が期待でき
ます。

繊維の周囲ではコラーゲンの生成が活発になり、
将来的なたるみ予防にもなります。

完全無料の
アフターケア

ロイヤルリフトとは？

実年齢より老けて見られる、
肌にハリが無い、ほうれい線が…etc
お顔のたるみでお悩みではありませんか？

ロイヤルリフトは、当院特注の溶ける繊維を使用したリフトアップです。切らない施術ですので、お顔に傷あとは残らず、より長い効果の持続を期待できます。
お顔に注入する繊維は、当院特注の溶ける極細繊維で、従来の繊維より柔軟性・伸縮性が高く、表情の動きに合わせて伸縮するため、施術後の仕上がりがとても自然です。



③ フェイスアップ

「フェイスアップは今までの外科的処置によるリフトアップでは不可能だった、お顔全体のつり上げを可能にした処置です。メスで切らずに溶ける繊維を注入してホホやフェイスラインを自由自在につり上げ、タルミを解消することができます。」

「フェイスアップは、お顔の正面・ホホ側面・フェイスライン、あらゆる面を自由自在にリフトアップすることが可能です。これにより、リフトアップ・小顔効果が得られます。」

「お顔の正面もホホもフェイスラインも思いのままに変化！」

「輪郭とアゴを同時に整えることでより小顔効果が生まれます。」

安心保障付の切らないリフトアップ
溶ける繊維を注入するだけ!

フェイスアップ

フェイスアップは今までの外科的処置によるリフトアップでは不可能だった、お顔全体のつり上げを可能にした処置です。メスで切らずに溶ける繊維を注入してホホやフェイスラインを自由自在につり上げ、タルミを解消することができます。仕上がりはとっても自然で処置直後からお化粧も可能です。

『自由自在なリフトアップ』と
『肌質改善効果』を実現!

フェイスアップは、お顔の正面・ホホ側面・フェイスライン、あらゆる面を自由自在にリフトアップすることが可能です。これにより、リフトアップ・小顔効果が得られます。また、繊維を注入した箇所はコラーゲン生成が促進され、肌質改善（帯状毛穴の改善やツヤ&ハリ感のアップ等）も期待できます。

さらにお顔全体を自然に若々しく!!

自由自在な
リフトアップ

お顔の正面もホホもフェイスラインも思いのままに変化!

自然な仕上がり

自然な仕上がりなので処置したことが人にバレにくい!

小顔効果

輪郭とアゴを同時に整えることでより小顔効果が生まれます。

処置跡は
極力少なく

同じ箇所から複数の繊維を注入するので跡が少なくて済みます。

切らない
(手術不要)

簡単な処置のみで、もちろんメスを使いません。手術不要です!

幅広い世代の
ニーズに適應

老化対策のみならず、幅広い世代のフェイスラインの治療に適しています。

2. BMC会員価格と非会員価格の二重価格表示の差止について

当該法人の広告において、BMC (Beauty Members Club) 会員には、料金が20%OFFになるとされ、非会員価格と会員価格が対照表示されています。

BeautyMembersClub会員特典でいつでもお得な価格に!!

全院・対象施術 20%OFF

当日入会可、入会金・会費は全て無料です
さらにお得な割引率のゴールド会員とダイヤモンド会員がごぞいます。

Beauty Members Club 会員特典について

会員特典 ①対象施術20%OFF
②誕生日25%OFF+1000ptプレゼント

実施院 全院

・コスメ、製品、歯科物品、AGA治療（ポイントは付与されます）、症例モニターの患者様は適用外になります。
・また医療レーザー脱毛、サーマクールCPT、ハイパーポラリス治療は会員特典②の25%OFFの対象外治療となりますのでご了承ください。

備考
・会員特典①②の併用はできません。
・来院当日すぐに入会できます。
・入会金・会費は全て無料です。
・会員特典②を受けていただく際は誕生日の確認できる証明書をご提示していただきます。ただし、Beauty Members Club入会時にご提示いただいている際はその限りではございません。

3. 退去妨害行為の差止について

広告表示なし

4. 症例実績等の問い合わせ

当該法人のホームページでは、2014年4月現在、品川グループ全院において、「症例実績 400 万件以上」「紹介・リピート約 90%以上」と記載されています。

経験豊富な私たちドクターにお任せください!




症例実績 **400万** 件以上

紹介・リピート 約 **90%** 以上

2014年4月現在 ※品川グループ全院において

5. 安心保障制度についての問い合わせ

当該法人のホームページでは、「安心保障制度」があるとされており、貴法人の医師の診察により再治療が必要ないし可能と判断された場合に、無料で再治療すると謳われています。



品川美容外科の安心保障制度

保障の適用は、
再施術が必要と医師が診断した場合に行います

— 私たちは施術前の患者様の不安をとことん解消します —

施術名	保障期間	保障内容
プラチナ・プリンセスリフト (ホホ骨下のタルミ取り+ブデシ フ取り)	1 年間	客観的に見て効果が全く認められないなど、当院 医師の診察により再治療が可能と判断した場合、 無料で再治療致します。
ミラクルリフト		
フェイスアップミニ		
フェイスアップ		
ロイヤルリフト (※ 逆ける糸も含む)		

6. ロイヤルリフト、フェイスアップの「切らない」との表現についての問い合わせ

上記「1.」の広告表示に記載

7. 「品川美容外科独自」「当院独自」「世界レベル」との表現についての問い合わせ

「ライトリフト」のページには、「この技術は品川美容外科独自のリフトアップ技術が生み出したオリジナルの新しい施術方法になります。」とあり、「二の腕の脂肪吸引」のページ等には、「当院のプレミアム脂肪吸引なら当院独自のダブル効果により」という表現。

1 ライトリフトとは？

ライトリフトは短時間の処置で効果を実感できる画期的な施術です。

この技術は品川美容外科独自のリフトアップ技術が生み出したオリジナルの新しい施術方法になります。

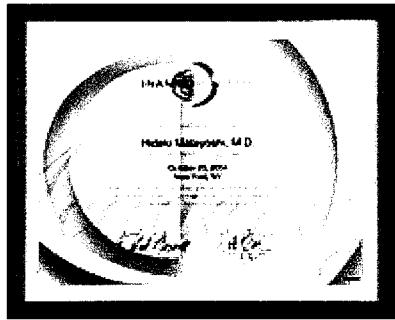
当院特注の溶ける繊維を使用するため、より長い持続期間を期待でき、わずか20分の施術で、ほとんど腫れずにリフトアップできるたるみ解消治療です。



二の腕が細くなります

筋肉の割合が多く、脂肪層の薄い二の腕は通常太りにくい部分ですが、いったん脂肪が付いてしまうと痩せにくいので、ダイエットをしても簡単には細くなりません。当院のプレミアム脂肪吸引なら当院独自のダブル効果により、二の腕を細くすることができるうえに、効率よく、患者様のカラダに配慮した吸引が行えます。保障制度もありますのでさらに安心です。

「世界レベルで認められたバスクリニック」であると標榜し、「複数の医師がアメリカの専門機関で研修を受け、認定証を交付されました」との表示



FDA認可の安全性

エンジェルバッグ®を製造しているMcGhan社の人工乳腺バッグは、FDA（アメリカ食品医薬品局）に認可された医療用の人工乳腺バッグで、アメリカの医療機関でも多くの支持を受けています。また、エンジェルバッグ®はヨーロッパ各国で安全基準のひとつとして扱われているCEマークも取得しています。

世界レベルで認められたバスクリニック

当院ではエンジェルバッグ®についてのさらなる専門的な知識と技術を身につけるべく、複数の医師がアメリカの専門機関で研修を受け、認定証を交付されました。この認定証を交付されている美容外科は日本国内でも当院を含め、ごくわずかしかありません。

以上

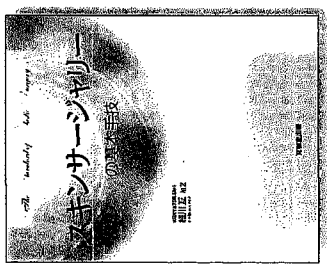


シリーズ第1弾!!

これが基本の「キ」だっ!

スキンサージャリーの基本手技

著/細川 互 大阪大学医学部形成外科



定価 14,490 円 (本体 13,800 円 + 税 5%)
A4 変判 130 頁
ISBN978-4-7719-0320-3

I 章 皮膚の切開 (切除) および縫合の基本
Atrumatic な手術/真皮縫合法/皮筋縫合法 (外傷の縫合)/筋後縫合

II 章 創傷 (dermatabrasion)
手技の特徴と適応/手技/合併症

III 章 電気的治療 (electrosurgery)
手技の特徴と適応/手技/合併症

IV 章 冷凍凝固法
手技の特徴と適応/手技/合併症

V 章 スキンサージャリーに有用な皮弁
皮弁の概念/皮弁選択の原因

VI 章 ティッシュエクスパンダーの選択と挿入手術
適応/エキスパンダーの選択と挿入手術
注入・2 回目手術とその合併症

VII 章 各種の皮膚外科疾患の治療法
主な皮膚前庭腫瘍・皮膚腫瘍性腫瘍の切除・掻除法
爪の外科/腫瘍性手筋/腋窩頭頸手術/出陣手術

知りたかったけど、今さら聞けなかったスタンダードテクニクの基本解説。

- 学生 卒業臨床研修医、研修医を終えて皮膚科や形成外科に取り組み始めた後期研修医の方々を対象として基本的な手技について解説しました。
- スキンサージャリーは外科の初歩または基本ということもできますが、実際に良質な結果の出る手術をしようとするれば豊富な経験と繊細さが必須です。「目から鱗」が必ずあります!

0113-0038 (東京) 03-3811-0995 (FAX) 03-3813-8666
0113-0038 (大阪) 03-3811-0995 (FAX) 03-3813-8666
克誠堂出版

スレッドリフトの選択と問題点

石井秀典*

Key words : スレッドリフト シルエットリフト 合併症

はじめに

近年、顔面の若返りに対する治療法は、低侵襲なものから従来のものまでさまざまな方法を選択できるようになった。それぞれの方法との組み合わせも考えられると何種類もの治療法から最も適切な方法を選択する必要がある。術者としてはそれぞれの方法における利点・欠点について理解し、患者に説明することが重要である。時にスレッドリフトでは従来の方法と比べ、患者が想像しているよりも効果が弱いこともあるため、場合によっては他の方法との併用が望ましいこともある¹⁾。術前に患者の希望と現在の状態を的確に判断し、治療方針を決めるべきである。

また、使用される糸の形状もさまざまなものが開発されており、糸の選択、手術方法の選択も必要となる。しかし、文献的には十分な報告がないものも多く、一概に判断できる状態ではないが、手術による合併症などの問題点を含め報告する。

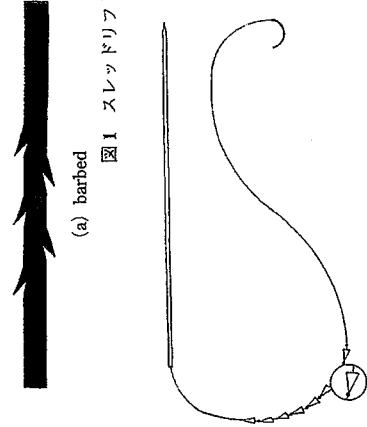
Ⅰ スレッドリフトの特徴と選択

現在、主に使用されているスレッドリフト

の糸の形状は“barbed”と“coned”の2種類である(図1)。それぞれ吸収性の糸と非吸収性の糸があり、牽引する部分の向きも中央で反対方向になっているものと、1方向のものがある。スレッドリフトの方法では糸を固定しない方法と固定する方法がある。固定しない方法では中央で反対方向になっているタイプの糸を使用する。この方法では糸を皮下に挿入し、糸の中央方向に組織を牽引することによってボリュームを作り輪郭を形成することができる。一方、固定する方法では1方向のタイプの糸を使用する。この方法では下垂した組織に糸が噛み合い、その糸を筋膜へ固定することによって牽引される仕組みとなっている²⁾。したがって、糸の形状的に2通り、方法的にも2通りあるため、スレッドリフトを大別すると次の4通りの方法に分類することができる。①barbedを固定しない方法、②conedを固定しない方法、③barbedを固定する方法、④conedを固定する方法である。“barbed”と“coned”を比較した報告はないため糸の形状による有効性はどちらが優れているかは判断できない。糸の固定に関しては、その目的が違うため症例に応じてボリュームが足りないのか、皮下組織の下垂を改善したいのかで使い分けることとなる。

中顔面を中心とした加齢性変化では皮下組織の減量と下垂の両方が起きるとされている。したがって、固定する方法と固定しない

*大塚美容形成外科



(a) barbed



(b) coned

図1 スレッドリフトに用いられる糸の形状

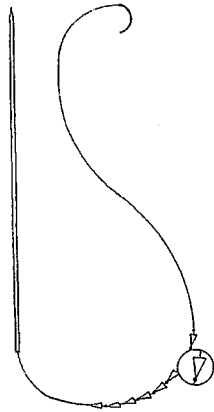


図2 Silhouette lift®

方法のどちらにも有効と考えられるが、固定しない方法では手術の合併症も多く報告されており、効果も不十分であるとの意見もあり⁹⁻¹¹⁾、今後は固定する方法が主流となってくるのではと感じている。著者らは、“coned” (Silhouette lift®: KMI 社製, 米国) を固定する方法を行っており、比較的良好な結果が得られている¹⁰⁾ (図2)。

III 施術の適応

スレッドリフトの目的は下垂した皮下組織をもとの位置に引き上げることであるため、皮膚の下垂が強い症例に対しては有効ではない。皮膚の下垂が強い症例では従来の SMAS 法が適応となり、鼻唇溝などのしわを改善したい症例に対してはヒアルロン酸の注入などが適応となる。また、中顔面から下顔面にかけて加齢性変化では、malar fat pad などの皮下組織が下垂を生じ、その結果、皮膚組織が徐々に下垂するとされている^{10,11)}。したがって本方法は、加齢性変化の初期である皮下組織の下垂があり、皮膚組織の下垂が少ない症例が最もよい適応であり、年齢的には 40-50 歳代くらいになると思われる。また、東洋人は欧米人と比べ比較的皮膚が厚いため加齢性のしわや皮膚のたるみは少ないと思わ

れ、本方法の適応は広いと考えている。

III 治療の実際

1. 術前の説明

まず、最初に確認すべきことは、本方法の目的は皮下組織の下垂に対する治療であり、しわの治療ではないことを説明する。次に注意することは、中顔面から下顔面にかけて、たるみの治療を希望する患者の多くは顔の皮膚を自らの手で引っ張った状態にしたいと伝える場合が多いということである。しかし、本方法では皮膚の切除を行わないため皮膚を引き上げた状態にはならない。著者は、手術の効果を説明する場合は、皮膚を引っ張った状態ではなく、たるみのある部分を指で押さえた状態に近いと説明している (図3)。したがって、手術による変化はそれほど大きなものではないことを十分に説明しておく必要がある。できれば、実際の症例写真を使用して説明するとよい。

2. 施術方法

本方法の問題点として手術の効果が弱いことが挙げられる原因として糸を通す部位、深さと糸の固定性が考えられるが、Malcolm¹²⁾ は深側頭筋筋膜から頬骨上外側の骨眼下を通し、SMAS, SOOF (sub-orbicularis oculi fat), malar fat pad を引き上げる方法を行っており、骨膜下の剝離を行うことにより中顔面の軟部組織の可動性をよくすることが重要だと報告している。Hudson¹³⁾ も、脂肪吸引や外科的な皮下剝離を併用し、牽引する組織の可動性をよくすることが重要だと報告してい



(a) 指で押さえた状態

(b) 指で引っ張った状態

図3 術前の説明

手術は皮膚を引き上げただけではなく、皮下組織を引き上げため、手術の効果を説明するには、皮膚を引っ張った状態ではなく、たるみ部分を指で押さえた状態に近くなる、と説明している。

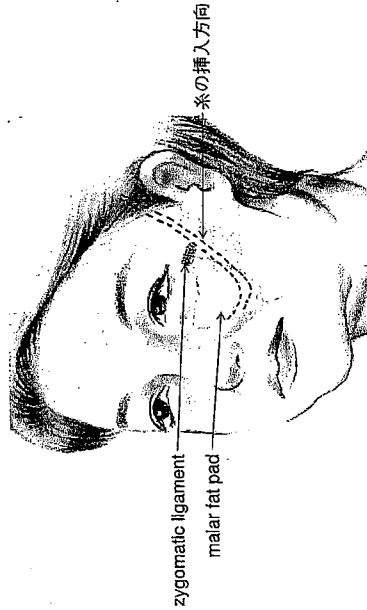
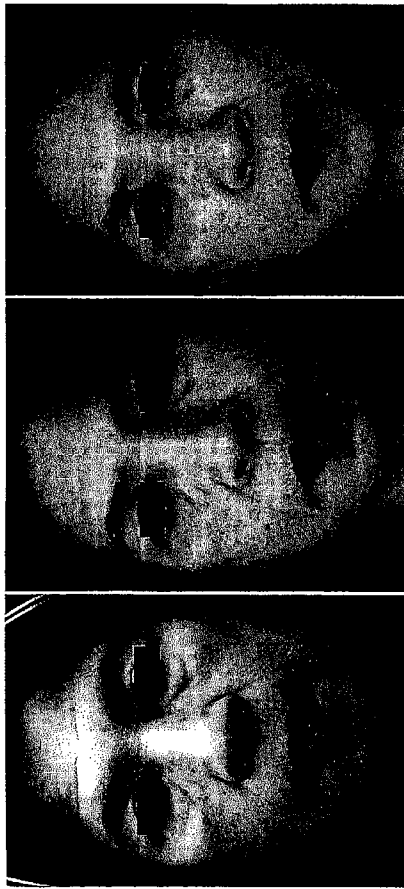


図4 糸の挿入方向
Zygomatic ligament を避け、弧状に挿入することによって malar fat pad などの皮下組織を牽引しやすくする。

る。著者は、糸の挿入方向と深さについて改良した方法で行っている。まず、糸を通す部位としては zygomatic ligament を避けるようにして挿入している。これは、ligament の周囲では線維性の組織が多いため、糸がそれらの組織に引っかかること牽引力が伝わりにくくなるためである。糸の挿入方向としては、

弧状に通すことにより malar fat pad などの皮下組織の挙上効果が強くなると考えている (図4)。糸を通す深さは皮下脂肪組織内であるが、jaw line を修正したい場合は真皮層に近い比較的浅い層を通すようにしている。糸の牽引効果は真皮層に近い方が強いのであるが、真皮層が薄い症例では



(a) 術前所見
 (b) Silhouette lift® によるスレッド
 ドリフト術後1カ月の状態
 鼻唇溝外側のたるみ(皮下組
 織の下垂)が挙上されている。
 (c) ヒアルロン酸注入後1週の状態
 スレッドドリフトの術後1カ月
 でヒアルロン酸の注入を眼窩下
 縁と頬部外側に行った。注入は
 骨膜上などの深部に行く。

図5 他の方法との併用

陥凹の原因となるため注意が必要である。糸の固定性については、筋膜の厚みが関係すると思われる。すなわち、深側頭筋膜が厚く筋体が透けて見えない場合では固定力も強いと考えられる。しかし、筋膜が薄く筋体が透見できるような場合では固定力も弱く、術後早期の戻りの原因となると考えられ、筋膜を補強する目的で surgical mesh などを使用すべきである。

3. 他の方法との併用

中顔面を中心とした最近の解剖学的な報告では、malar fat pad などの皮下組織と SMAS の間の結合組織がゆるみ、下垂を生じるとさ
 れている¹⁰⁾¹¹⁾。また、顔面の皮下脂肪層はいくつかの区面に分けられており、加齢により各区面の fat pad のボリュームが小さくなる
 との報告もある¹⁰⁾。この2つの原因によって加齢性変化が進行していくのだと仮定する
 と、下垂した組織を挙上するだけでは効果は弱
 弱いと考えられ、プロテーゼの挿入や脂肪注
 入、ヒアルロン酸の注入などの augmenta-

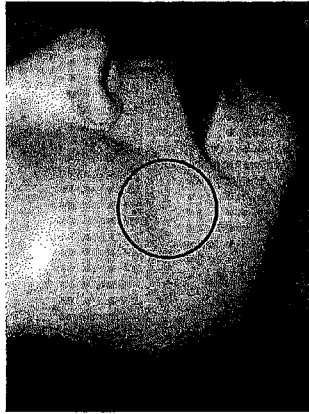


図6 合併症として皮膚の陥凹を認めた症例



(a) 術後1週の状態
 上方視で軽度の麻痺を認める。
 (b) 術後6週の状態
 麻痺は完全に戻っている。
 図7 合併症として左顔面神経側頭枝の軽度麻痺を認めた症例

側頭部の咀嚼時痛、頬部の疼痛、側頭部の皮下血腫、皮膚の陥凹、顔面神経側頭枝の一過性麻痺などの合併症を経験した。開口障害は3~7日間、側頭部の咀嚼時痛と側頭部の皮下血腫は1~2週間で改善した。頬部の疼痛は2~3カ月続いた症例もあった。皮膚の陥凹は術後1週の時点をマッサージすることに
 より消失するが、1例で残存を認めたため陥凹部に対してヒアルロン酸の注入を行った(図6)。顔面神経側頭枝の一過性麻痺は1例
 経験した(図7)。本症例では6週後に完全に回復したが、頬骨より頭側では糸と側頭

枝が交差するため、挿入する層によっては神経を傷害する危険性がある。挿入の際には先端が鈍針となっているイントロデュースーを使用するべきである(図8)。

2. 問題点

- 1) 糸を固定しない方法
 顔面に用いるスレッドドリフトとして最初に報告された方法である。低侵襲で手術の効
 果もよいとの報告もあるが¹⁰⁾¹¹⁾、合併症の報
 告も多い。また、手術の効果も弱いため筋膜
 への固定が必要だとする報告もある¹⁰⁾¹¹⁾。糸

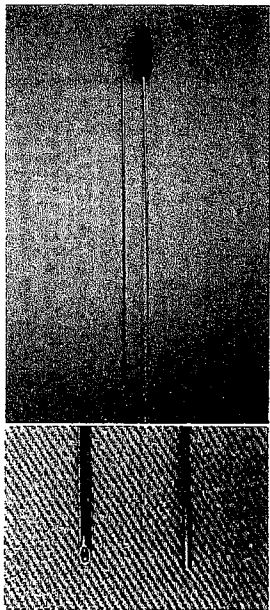


図8 イントロデュサー
外筒と内筒に分かれ先端が鈍になっている。



(a) 再引き上げ前

スレッドドリフトの効果が弱かった症例である。筋膜での固定が緩み、糸の緊張度が弱くなっている()。また、切開線よりも頭側に固定していたが、切開線の直上まで移動している。

図9 筋膜の固定

(b) 再引き上げ後

スレッドドリフトの術後2カ月で再引き上げを行った。糸の緊張度が強い()。

の移動や露出といった合併症はまれだとしても、一般的に受け入れられない症状だと思われる。

2) 糸を固定する方法
本方法では糸を筋膜に固定するため、糸の移動や露出の合併症は起こりにくいと考えられる。しかし、“barbed”を用いた方法では1例で露出を認めたと報告されている²⁰⁾。原因として、手術中に糸が切れた可能性がある

と述べている。“coned”を用いた方法では、糸の移動や露出を認めた合併症の報告はない。著者は、2008年より“coned”を用いた方法を行っている。前述した合併症は認められなかったが、糸の移動と露出は認めない。しかし、本術式の問題点は効果が予想しているよりも弱いことである。手術直後の状態で引き上げ効果が弱い印象は受けていないため、効果が弱い原因は術後の戻りだと考えてい

る。術後の戻りは筋膜での固定性とコーンのずれに起因すると考えられる。その対策法として、筋膜での固定に対しては surgical mesh や筋膜固定部の8の字縫合などの補強が必要だと報告されている²¹⁾。コーンのずれは術後早期に起きると考えられる。原因は表情筋の動きによりコーンがずれる可能性があるためである。このことは、術直後に皮膚陥凹が起きた際にマッサージを行うことにより容易に修正できることから想像できる。したがって対処法としては、術後のドレッシングでテーピングによる皮膚の固定を行うべきである。著者は、手術の効果が弱いという訴えに対して術後2カ月で再引き上げを行った2症例を経験した。この2症例ではいずれも筋膜での固定が緩くなっていた(図9)。また、引き上げる際に糸と頬部の皮下組織の接着は良好であり、埋入されている糸の再牽引に際して特に問題はなかった。

まとめ

スレッドドリフトは糸を使用して下垂した組織を引き上げる目的で行われる。低侵襲であり、顔面の皮下組織の下垂を改善させることができる。しかし、使用する糸の選択、手術方法の選択、手術の適応について検討が必要である。糸の選択に関しては、文献的な報告が少ないため判断できる状態ではない。手術方法に関しては、合併症と手術の効果を考えると糸を固定する方法が主流になってくると思われる。手術の適応は、皮膚の下垂が少なく皮下組織の下垂を認める症例であり、一般的に、強い“たるみ”や“しわ”に対しては有効ではない。問題点としては、手術の効果が弱いことである。今後糸の改良や手術方法の工夫、他の方法との併用など、手術効果を高めるために検討していくべきだとと思われる。

引用文献

- 1) Tonnard P, Verpaele A, Monstrey S, et al: Minimal access cranial suspension lift: A modified suture. *Plast Reconstr Surg* 109: 2074-2085, 2002
- 2) Noone BR: Suture suspension malarplasty with SMAS plication and modified SMASectomy: A simplified approach to midface lifting. *Plast Reconstr Surg* 117: 792-803, 2006
- 3) Ramirez OM: Three-dimensional endoscopic midface enhancement; A personal quest for the ideal cheek rejuvenation. *Plast Reconstr Surg* 109: 329-340, 2002
- 4) Lee S, Isse N: Barbed polypropylene sutures for midface elevation. *Arch Facial Plast Surg* 7: 55-61, 2005
- 5) Garvey PB, Ricciardelli E, Gampfer T: Outcome in threadlift for facial rejuvenation. *Ann Plast Surg* 62: 482-485, 2009
- 6) Matarasso A, Pfeifer TM: The use of modified sutures in plastic surgery. *Plast Reconstr Surg* 122: 652-658, 2008
- 7) Villa MT, White LE, Alam M: Barbed sutures; A review of literature. *Plast Reconstr Surg* 121: 102e-108e, 2008
- 8) Isse N: Silhouette sutures for treatment of facial aging; Facial rejuvenation, remodeling, and facial tissue support. *Clin Plast Surg* 35: 481-486, 2008
- 9) 石井秀典, 半田俊哉, 阪田和明: シルエットドリフトを用いた頬・下顎部の若返り術. *形成外科* 52: 13-19, 2009
- 10) Owsley JQ, Thomas GSF: Update; Lifting the malar fat pad for correction of prominent nasolabial folds. *Plast Reconstr Surg* 100: 715-722, 1997
- 11) Gossain AK, Klein M, Sudhakar PV, et al: A volumetric analysis of soft tissue changes in the aging mid face using high resolution MRI; Implications for facial rejuvenation. *Plast Reconstr Surg* 115: 1143-1152, 2005
- 12) Malcolm DP: Using barbed sutures in open/subperiosteal midface lifting. *Aesthetic Plast Surg* 26: 725-732, 2006
- 13) Hudson DA: Caveats for the use of suspension sutures. *Aesthetic Plast Surg* 28: 170-173, 2004
- 14) Rohrich RJ, Pessa JE, Risow B: The youthful

- cheek and the deep medial fat compartment. *Plast Reconstr Surg* 121 : 2107-2112, 2008
- 15) Lycka B, Bazan C, Poletti E : The emerging technique of the antiptosis subdermal suspension thread. *Dermatol Surg* 30 : 41-44, 2004
- 16) Wo WTL : Barbed sutures in facial rejuvenation. *Aesthetic Surg J* 24 : 582-587, 2004

- 17) Silva-Siwady JG, Diaz-Darza C, Ocampo-Candiani J : A case of aptos thread migration and partial expulsion. *Dermatol Surg* 31 : 356-358, 2005
- 18) Winkler E, Goldan O, Regev E, et al : Stensen duct rupture (sialocele) and other complications of the aptos thread technique. *Plast Reconstr Surg* 118 : 1468-1471, 2006

- 19) Sulamanidze MA, Fournie PF, Paikidze TG, et al : Removal of facial soft tissue ptosis with special threads. *Dermatol Surg* 28 : 367-371, 2002
- 20) Isse NG : Elevating the midface with barbed polypropylene sutures. *Aesthetic Surg J* 25 : 301-303, 2005

- 21) Kamminer MS, Bogart M, Choi C, et al : Long-term efficacy of anchored barbed sutures in the face and neck. *Dermatol Surg* 34 : 1041-1047, 2008

- 22) Hochman M : Midface barbed sutures lift. *Facial Plast Surg Clin North Am* 15 : 201-207, 2007

- 23) Gamboa GM, Vasconez LO : Suture suspension technique for midface and neck rejuvenation. *Ann Plast Surg* 62 : 478-481, 2009

ABSTRACT

Hidenori Ishii, MD*

Selection of Thread Lift Surgery and Its Issues

Recently, less invasive procedures have been desired increasingly in the treatment for facial rejuvenation. Thread lift surgery is intended to lift sagging tissues with sutures. This is a low-invasive procedure that can improve facial sagging. It has been widely used for such purpose. However, no appropriate standards have been established for the selection of sutures or surgical techniques used for the procedure. Literature reports on the effect of the surgery and the duration of the effect are limited, so we cannot assess these issues adequately. We herein report our experience and the issues of thread lift surgery, including the indications of the surgery, types and selection of sutures, surgical techniques, and complications.

* *Osusaka Cosmetic and Plastic Surgery, Tokyo 170-0004*

特集 顔面のたるみ治療—スレッドリフトの適応と効果—

スレッドリフト成功のコツ

中北信昭* 古山登隆*

Key words : スレッドリフト Happy Lift™ シルエットリフト

はじめに

最近、わが国ではスレッドリフトが盛んに行われるようになったが、その効果や持続性を疑問視する人もいる。われわれも、術前術後の写真を比較してみると、明らかな違いを見出しにくいと感じることも決して少なくはない。しかし、実際に多くの患者に一定の満足感が得られており、持続性に不満があったとしても、再び手術を希望する患者が確実に増えていることもまた事実である。その理由として、フェイシリフト手術に比べればダウンタイムが著明に短く、基本的には露出部に手術痕が残らないという利点が大きいこと、またドラマチックな改善よりも、他人には(家族にも)気付かれぬ程度のさりげない変化の方がかえって受け入れられやすいことなどが挙げられる。したがってスレッドリフトにおける「成功」は、必ずしも大きな効果を得ることではなく、患者にある程度の満足をもたらすことであると考えている。

本稿では、スレッドリフトを成功に導くためにわれわれが行っている工夫や手技上の注意点などについて述べる。

I 適応とインフォームドコンセント

何の知識もなく顔の老化・たるみに関する相談に訪れる患者ばかりでなく、最近でははじめから「特殊な糸による簡単な吊り上げ法」を目当てに来院する場合も少なくない。いずれにしてもわれわれは、非手術療法・スレッドリフト、フェイシリフト手術の3通りの方法の特徴を説明したうえで、治療法を選択する。患者の描くイメージと実際との相違が少ないほど治療は成功に近づくが、過剰な期待を抱いている場合やあまりにも安易に考えている場合には、術後にトラブルが生じやすい。特に簡単な施術ほど何らかの合併症が発生した時の落胆は大きいので、十分に説明しておくことが大切である。

II 施術

1. 麻酔

手術侵襲が低いとはいえ、針を通す距離および全体の面積は通常かなり大きくなるので、局所麻酔に伴う苦痛が決して少なくない。局所麻酔の部位は、皮膚切開部または針の刺入部以外は出口のみでよいという意見もあるが、実際には途中で痛みを訴えることが少なくない。また三叉神経ブロックも有効ではあ